

授業日	4/19(火)	1 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回																																														
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AI 活用人材とは何か、AI を取りまく環境（Society 5.0/第 4 次産業革命）について理解し、語るすることができる。</li> <li>・ ルーブリックを理解し、プレゼンテーションを行うことができる</li> </ul>																																																
時間 授業内容	5 10 15 15 10 35	<p>学びの記録のフィードバック</p> <p>ルーブリックの確認・自分の発表の練習</p> <p>ルーブリックを用いて互いの発表を評価し、フィードバックを行う</p> <p>「AI 活用人材とは・・・」、「AI を取りまく環境とは・・・」という 1 文をロイロで提出</p> <p>ペア活動：「第 3 講：AI のグローバルリーディングカンパニーの取り組み」「第 4 講：AI を支える技術」をどちらが観るかを決め、それぞれで視聴。学びの記録に記載。</p> <p>次回の授業に向けて発表資料を作成する</p>																																															
評価方法	<p>学びの記録</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>知識/技術</th> <th>意見/考察</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>自分の視点を持って内容を処理、記述している。情報がしっかりと整理されている。</td> <td>知識と知識/意見/考察が有機的につながる記述が多くみられる。深い洞察とクリエイティブな広がりが見られる。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>内容をある一定程度処理、記述している。ある程度情報が整理されている。</td> <td>多少有機的な考察が見られる。多くが短絡的・表層的な感想や意見、疑問にとどまっている。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>情報の量/質が不十分である。情報が整理されておらず羅列になっている。</td> <td>感想や意見、疑問の量/質が不十分である。</td> </tr> </tbody> </table> <p>次回の 3 分間プレゼンのルーブリック（事前に提示）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>観点</th> <th>説明</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目的</td> <td>プレゼンテーションの目的を聞き手に伝えられたか</td> <td>プレゼンテーションの目的を明確に相手に示し、聞き手に伝わったことを確認できた。</td> <td>プレゼンテーションの目的を聞き手に示す部分があった。</td> <td>プレゼンテーションの目的を聞き手に示せなかった。</td> </tr> <tr> <td>論点</td> <td>プレゼンテーションの論点が明確であったか。</td> <td>発表の目的に沿った論点が明確に説明されていた。</td> <td>発表の目的に沿った論点が見られる部分があった。</td> <td>発表の目的に沿った論点が見られなかった。</td> </tr> <tr> <td>考察</td> <td>考察が示されていたか。</td> <td>動画の内容に沿った自分なりの考察が3か所以上示されていた。</td> <td>動画の内容に沿った自分なりの考察が1、2か所示されていた。</td> <td>動画の内容に沿った自分なりの考察がなかった。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スライド</td> <td>分かりやすく作られていたか。</td> <td>全ページがキーワード・キーフレーズのみで作られていた。</td> <td>キーワード・キーフレーズのみで作ることに配慮していたページもあった。</td> <td>多くのページでキーワード・キーフレーズのみで作ることに配慮していなかった。</td> </tr> <tr> <td>見やすく作られていたか。</td> <td>全ページでフォント・色使い、余白などに配慮していた。</td> <td>フォント・色使い・余白などに配慮していたページもあった。</td> <td>多くのページでフォント・色使い・余白などに配慮していなかった。</td> </tr> <tr> <td>スピーチ</td> <td>姿勢・表情・視線・ジェスチャーなど非言語的に表現が適切に用いられていたか。</td> <td>聞き手の反応を確認しつつ、姿勢よくアイコンタクトも用いていた。</td> <td>良い姿勢やアイコンタクトなどを取ろうと努めていた。</td> <td>うつむきがちで聞き手の反応を確認する様子が見られなかった。</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>チェックリスト（形式）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 表紙にタイトル、学年、クラス、番号、名前、発表日時を記載している。</li> <li><input type="checkbox"/> 発表時間の3分の±10%におさまっている。（練習をした結果）</li> </ul>				知識/技術	意見/考察	A	自分の視点を持って内容を処理、記述している。情報がしっかりと整理されている。	知識と知識/意見/考察が有機的につながる記述が多くみられる。深い洞察とクリエイティブな広がりが見られる。	B	内容をある一定程度処理、記述している。ある程度情報が整理されている。	多少有機的な考察が見られる。多くが短絡的・表層的な感想や意見、疑問にとどまっている。	C	情報の量/質が不十分である。情報が整理されておらず羅列になっている。	感想や意見、疑問の量/質が不十分である。	観点	説明	A	B	C	目的	プレゼンテーションの目的を聞き手に伝えられたか	プレゼンテーションの目的を明確に相手に示し、聞き手に伝わったことを確認できた。	プレゼンテーションの目的を聞き手に示す部分があった。	プレゼンテーションの目的を聞き手に示せなかった。	論点	プレゼンテーションの論点が明確であったか。	発表の目的に沿った論点が明確に説明されていた。	発表の目的に沿った論点が見られる部分があった。	発表の目的に沿った論点が見られなかった。	考察	考察が示されていたか。	動画の内容に沿った自分なりの考察が3か所以上示されていた。	動画の内容に沿った自分なりの考察が1、2か所示されていた。	動画の内容に沿った自分なりの考察がなかった。	スライド	分かりやすく作られていたか。	全ページがキーワード・キーフレーズのみで作られていた。	キーワード・キーフレーズのみで作ることに配慮していたページもあった。	多くのページでキーワード・キーフレーズのみで作ることに配慮していなかった。	見やすく作られていたか。	全ページでフォント・色使い、余白などに配慮していた。	フォント・色使い・余白などに配慮していたページもあった。	多くのページでフォント・色使い・余白などに配慮していなかった。	スピーチ	姿勢・表情・視線・ジェスチャーなど非言語的に表現が適切に用いられていたか。	聞き手の反応を確認しつつ、姿勢よくアイコンタクトも用いていた。	良い姿勢やアイコンタクトなどを取ろうと努めていた。	うつむきがちで聞き手の反応を確認する様子が見られなかった。
	知識/技術	意見/考察																																															
A	自分の視点を持って内容を処理、記述している。情報がしっかりと整理されている。	知識と知識/意見/考察が有機的につながる記述が多くみられる。深い洞察とクリエイティブな広がりが見られる。																																															
B	内容をある一定程度処理、記述している。ある程度情報が整理されている。	多少有機的な考察が見られる。多くが短絡的・表層的な感想や意見、疑問にとどまっている。																																															
C	情報の量/質が不十分である。情報が整理されておらず羅列になっている。	感想や意見、疑問の量/質が不十分である。																																															
観点	説明	A	B	C																																													
目的	プレゼンテーションの目的を聞き手に伝えられたか	プレゼンテーションの目的を明確に相手に示し、聞き手に伝わったことを確認できた。	プレゼンテーションの目的を聞き手に示す部分があった。	プレゼンテーションの目的を聞き手に示せなかった。																																													
論点	プレゼンテーションの論点が明確であったか。	発表の目的に沿った論点が明確に説明されていた。	発表の目的に沿った論点が見られる部分があった。	発表の目的に沿った論点が見られなかった。																																													
考察	考察が示されていたか。	動画の内容に沿った自分なりの考察が3か所以上示されていた。	動画の内容に沿った自分なりの考察が1、2か所示されていた。	動画の内容に沿った自分なりの考察がなかった。																																													
スライド	分かりやすく作られていたか。	全ページがキーワード・キーフレーズのみで作られていた。	キーワード・キーフレーズのみで作ることに配慮していたページもあった。	多くのページでキーワード・キーフレーズのみで作ることに配慮していなかった。																																													
	見やすく作られていたか。	全ページでフォント・色使い、余白などに配慮していた。	フォント・色使い・余白などに配慮していたページもあった。	多くのページでフォント・色使い・余白などに配慮していなかった。																																													
スピーチ	姿勢・表情・視線・ジェスチャーなど非言語的に表現が適切に用いられていたか。	聞き手の反応を確認しつつ、姿勢よくアイコンタクトも用いていた。	良い姿勢やアイコンタクトなどを取ろうと努めていた。	うつむきがちで聞き手の反応を確認する様子が見られなかった。																																													
宿題指示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AI 入門講義動画「第 3 講：AI のグローバルリーディングカンパニーの取り組み」「第 4 講：AI を支える技術」を観て、各自がどちらか 1 つの発表資料（3 分間）を作成する</li> </ul>																																																